



家庭からの火災を防ぐために

季節は秋真ただ中です。これからの時期、空気が乾燥し、火災の発生しやすい気象状況が続きます。家庭から、火災を起さないよう、皆さんで注意しましょう。



- 1 家の周りに燃えやすい物を置かない
- 2 寝たばこやたばこの投げ捨てをしない
- 3 揚げ物をする時は、その場を離れない
- 4 風の強い時は、たき火をしない
- 5 子どもにはマッチ・ライターで遊ばせない
- 6 電気器具は正しく使い、たこ足配線しない
- 7 ストープの周りに燃えやすい物を置かない

暖房器具

1 カーテンなど、燃えやすい物の近くで使用しない。周囲に洗濯物を干さない。

2 暖房器具を使用している部屋で、可燃性のガスを含んだ Sprei 缶は使用しない。

3 火をつけたまま、または電源スイッチを入れたまま移動しない。

4 石油ストーブに給油する時は必ず火を消してから行う。



電気の取り扱い

1 電気コードは電気容量に限界があります。たこ足配線などによる容量を超えた使用はやめましょう。

2 電気コードの上に重い物を置いたり、無理に曲げたりしないようにしましょう。

3 使用しない電気器具の差し込みプラグはコンセントから抜いておきましょう。

4 コンセントや差し込みプラグは、いつもきれいにしておきましょう。



放火

1 不要な物は処分し、家の周りに燃えやすい物を置かない。

2 ごみは指定日に、収集場所に出し、不法投棄はしない。

3 外出・就寝時は鍵をかける。他人が自由に入れる駐車場では、燃えやすいボディーカバーは使用しない。

5 外灯を設置するなど、夜間も家の周りを明るくする。



たばこ

何気なく吸っているたばこの温度は800℃です。家の中で毎日火をつけているたばこは、ついその危険性を忘れがち。塗料や接着剤には可燃性の溶剤が含まれているので、たばこを吸いながら子どものプラモデル作りを手伝ったり、ヘアスプレーを使ったりするのは危険なのでやめましょう。

